



K 中通信

学校だより 5号
令和元年7月20日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）

一学期を振り返って

校長 星野 久美子

昨年の猛暑とはうって変わって、今年は日照不足の6・7月となっています。水温が上がらないために水泳の授業が中止になる日もありました。梅雨明けが待ち遠しいところです。

一学期の振り返りを行うときに意識するのは学校教育目標ですが、「主体的に考え行動する生徒の育成」を目指した取り組みとして行われたものに、2年生清里自然教室事後学習があります。「横浜市立中学校の先生方に清里自然教室を提案する」というテーマ設定で、図書館やPC、タブレットなどでの調べ学習で得た知識や清里での実体験をもとに、班ごとにプレゼンテーションを行いました。発表の当日は、教職員や参観の保護者の前でどの班もしっかりとした発表を行うことができました。提案のポイントとして、宿泊場所までの距離や時間、交通費、清里の資源などを取り上げた班が多かったのですが、清里の日照時間をグラフで表し、「雨で活動内容が変更になることが少ない」と説明した班もありました。客観的なデータを根拠とした説得力ある説明に、参観者が頷いていたことが印象的でした。

さて、明日からは夏休みです。本校では、様々な人と関わる経験の中で多様な他者の考えや立場を理解し、他と協働する力を育てるために、「地域交流活動」を推進しています。地域での行事などで生徒たちがお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

夏季休業期間を大切に

副校長 白倉輝満

夏祭りのにぎわう頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。最近は大気の変化も著しく、職員も子どもたちも対応に追われる日々が続いています。ともあれ、子どもたちにとっては、変化の大きかった一学期もようやく終わります。

一年生は、小学校からの大きな変化によく対応した4か月でした。二年生は、学習内容もより高度化し、部活動では中心的役割を担う時期になってきました。三年生は、いよいよ各自に合った進路を見極め、卒業後に向けた準備が本格化してきました。

大きな変化にしっかり対応し、いろいろなことを主体的に学んできた子どもたちにとって、この夏休みは活用次第で素敵な時間になるのではないのでしょうか。それぞれの個性に合わせた時間の使い方を考え、二学期にはさらに成長した笑顔を見せてくれるよう願っています。